

興建 KOKEN CLUB 倶楽部

Spring
Summer
4-2017

Vol.020

季刊情報誌
1月4月7月10月
毎回1日発行

編集：興建倶楽部制作委員会 発行：株式会社 興 建

がんばれ
フロンターレ

KAWASAKI
Frontale



興建は川崎フロンターレのオフィシャルスポンサーです

今季のコラム

川崎市の人口増加は10年前に比べ、約11%増加し、平成29年3月で149万1千人を超えました。多摩川を渡れば賃貸家賃が大幅に下がることから、都市部の人口流入が原因の一つのようです。昔は川崎市と言えば「公害の町」というイメージが強かったのですが、多摩川も清流となり、鮎も住みやすい街になりました。今季は学校をメインにご紹介していきます。



古川小学校東側外観

生徒の増加により古川小学校の新校舎を設立



東南側外観

1年8ヶ月の工程期間を経て完成した新校舎
川崎市立古川小学校は昭和23年2月3日設立、優に69年経た伝統ある学校です。平成28年4月においては875名の児童数ですが、JR南武線鹿島田駅周辺の開発に伴い、高層マンションの林立に合わせ児童数が増加してきました。学校の受入れ在籍児童が数年後には1,000人を超える見通しです。市は新校舎の増設を計り、6クラスの普通教室・管理諸設、多目的室、倉庫、屋上プールを建設しました。青柳現場所長を初め、各専門協力業者と共に、厳しい工程期間を順守し平成29年2月に市へ引き渡しました。外観は白を基調にすがすがしく、未来を担う児童の心を象徴しています。共用階段は全面ガラス張りの、明るい日差しが注ぐ解放感のある空間構成で、鮮やかな緑とオレンジの色彩の壁で区画されています。手洗い所は児童たちの集まるスペースで、小さな図書館にもなり、互いのコミュニケーションの場として利用されま



屋上プール



手洗い室



児童トイレ



す。鉄筋コンクリート造3階建ての校舎は、災害時の緊急避難所にもなり、地域の交流の場としても重要な役割を果たしています。通行人も「よくできたきれいな校舎だ」と称賛していました。

△ 普通教室

建築地：川崎市幸区
敷地面積：14,389.48㎡
建築面積：1,104.55㎡
延床面積：2,207.98㎡
工法：鉄筋コンクリート造
3階建て

さわやかに蘇った東高津中学校の学び舎が完成



東南側外観

内外壁の全面塗装・洗面トイレの増設が完了

昭和59年4月に創立の東高津中学校は、吹奏楽コンクール神奈川県大会B部門で金賞。パドミントンジュニア大会川崎ブロック大会では男女共に上位を誇る学校です。

経年劣化に伴い改修工事が決定、約8か月の工程を経て平成29年1月に引き渡されました。外壁タイル補修・塗装をはじめ、屋上プールの床防水、洗面所トイレの増設等を施工しました。工事はおおよそ50社、延べ4,000人の現場人員をかけて丁寧な作業が行われました。常に安全第一を目標に掲げ、各専門分野が責任を持って取り掛かり、完了検査時には市から高い評価を得ました。現場代理人の大久保所長、大

洞現場監督が完成にあたり、内装壁・天井のまばゆく輝く輝く体育館で、全校生徒を前にしてご挨拶をするという異例の要望がありました。生徒たちからは感謝の寄せ書きも贈られています。1年は



天井・壁を塗装工事



改修後

改修前

改修されたシート床は肌触りがよく、耐候性・耐熱性・耐薬品性を計り、壁は暖かみのある鮮やかな色彩で蘇りました。プールの水は災害時に起きた火災の消火・避難生活の用水として使用され地域交流の場としても役にたっています。



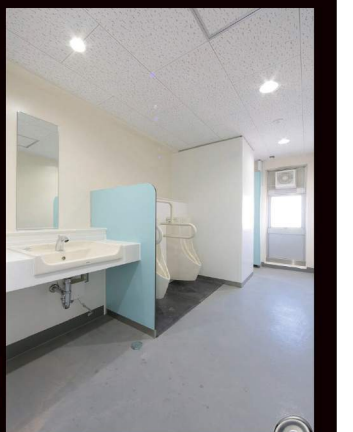
全校生徒の前でご挨拶をする大久保所長

無事に約束の期日でお引渡し出来たのも、工事に携わった教育委員会さん、インシステムさん、そして高津中学校関係者、皆様方の協力があったからだと思います。本当にありがとうございました。

かかる工事期間を8ヶ月で収めたことは、各協力業者の一致団結と、学校を元の美しさに蘇らせようという情熱があったからでした。学校は毎年約160名前後の生徒が卒業していく中、学び舎の情景はきっと思い出に残ることでしょう。



エレベーターの増設



生徒用トイレ

階段の歩行困難者等の昇降に、各階にエレベーターを設置。水回りも生徒の増加に対応し、増設によって解消し設備は充実しています。

建物名称：川崎市立東高津中学校
所在地：川崎市高津区末長
改修場所：校舎の塗装・体育館の内装塗装・水回りの設備増設、他



建築・不動産
無料相談会

開催中!

0120-116-678

website:http://www.koken-inc.co.jp/



総合建設業
株式会社 興建

川崎市中原区今井仲町2番2号

Panasonic
Builders
Group

木造の耐火構造テナントビルが竣工



イーストK外観

強固な柱・梁に囲まれた木と鉄のハイブリット工法

川崎市中原区サライ通りに完成した「イーストK」ビル。構造は木造3階建て。耐震の強靱さを誇る、パナソニック・テクノストラクチャー工法を採用。梁にH鋼を接合させ、たわみ・曲げに対しての強度を発揮し、耐震性においては、実大振動実験で震度7クラスの激震を5回与えても、主要構造体の損傷がない事を確認しました。



セキュリティはオートロック

沿道は耐火建築物が並ぶ通りに合わせ、外観は木造に見えないように凹凸感を出し、1層を御影石2、3層はサイディングのデザインでアピールしています。複合ビルとして3階をファミリー層2戸。1、2階をテナントとして4月より認可保育所が入り、またサライ通りに新しい建物がお目見えしました。

建築地：川崎市中原区
敷地面積：152.50㎡
建築面積：121.69㎡
延床面積：340.45㎡
工法：木造(テクノストラクチャー工法)



二間続きの解放感ある洋室
窓も多彩で明るい



W=2250キッチン
調理もしやすく収納に満足



1616サイズのユニットバス
足を伸ばしてリラックス

ネットワーク居住の中心的な併用住宅

1階テナント事務所



事務所併用住宅

音楽を楽しみながらセッションする夢の広がる住宅

家族構成の変化で手狭になる事から計画された併用3階建て住宅は1階がテナント事務所、2・3階を居住スペースとしています。近隣にお住いの両親や祖父母の実家を中心に、独立した兄弟や親戚の住宅もあり、それぞれが生活の中で”仕事・家事・育児・地域交



L型の玄関土間は
ベビーカーが置ける。

テナント事務所は商談スペース、事務室と動線重視と、スタイリッシュな内装でまとめられている。



ワイドのI型システムキッチンを中心に、家族の団欒が生まれます。

流”などを分担しながらネットワーク居住されています。静かな住宅地にある外装は、色や材質が異なった存在感のある5種類の素材で構成され、象徴するように多様な世帯とのかかわりの中で、中心的存在感のある建物として調和のとれたデザインでアピールしています。玄関はベビーカーを保管するために土間スペースを広くし、2階は家族共通の趣味、音楽を楽しむピアノ室があり、家族セッションで楽しむのはもちろん、将来はピアノ教室を開く夢のひろがるコミュニケーションの場となっています。

建築地：川崎市中原区
敷地面積：143.83㎡
建築面積：63.97㎡
延床面積：179.95㎡
工法：木造3階建て



収納は各階の至る場所に
設け、できるだけ物を置
かないスペースにしたい
とのご要望に、納戸・収
納棚と充実しています。



将来お子様が独立する際に、二間にできるよう扉を二つ設けてあります。

賃貸収支とコストパフォーマンスをご提案した集合住宅

我が家は最上階に住みながら賃貸で収益を上げていく

「フロイデ アサヒ」ビルは長い歴史を誇る、店頭でバロック調の装飾があったビル旭屋洋服店の建替えとなりました。川崎市中原区武蔵中原駅に近い利便性で、収支の合う集合住宅のご



ひろびろルーフバルコニー

相談を受けました。敷地が間口9m、奥行26m以上もある縦長の形状のため、収支の見合う戸数、住人の動線に配慮した計画で始まり、トータルコストバランスに要した建物になりました。1階は16坪のテナント。4階まで25~32㎡以上ある1DK賃貸住戸面積で、14戸



フロイデアサヒ外観



宅配BOXのあるエントランス



1DKタイプの賃貸室

が入り、さらに最上階にオーナー様が住まうことができます。また斜線制限の規制により、玄関から出入り可能な18坪程度のルーフバルコニーを設け、家族にとって心地いい癒しの空間となっています。ご高齢のお父様は施設に入所されていましたが、地鎮祭・上棟式と参列し、感無量のお気持ちを伝えて頂きました。弊社は事業計画・プランニングから施工、マンションアフター管理まで一体して参画する運営を行っています。中間手数料を省きコストを抑えた経済的な事業のご提案をしています。



収納付きのキッチン

タンクレストイレ

△オーナー様室の玄関ホール。ガラス扉からはルーフバルコニーへ出入りする。



キッチン是对面式で、引き戸付の収納力がありうれしい。

建築地：川崎市中原区
敷地面積：226.86㎡
建築面積：138.00㎡
延床面積：627.57㎡
工法：鉄筋コンクリート造



総合建設業
株式会社 興建

〒211-0065 川崎市中原区今井仲町2番2号
TEL:044-733-2325 FAX:044-722-4425